

2015 年度第 3 回関東学連総会議事録

日時： 2015 年 10 月 10 日 13 時

場所： 慶應義塾大学日吉キャンパス

文責： 坂野翔哉

出席： お茶の水女子 慶應義塾 千葉 筑波 東京 東京農工 横浜国立 早稲田 実践女子 一橋 相模女子 東京工業 日本女子 津田塾 茨城 横浜市立 十文字 関東学院

委任： なし

欠席： なし

遅刻： なし

ミドルセレ実行委員長の佐藤（東工大 OB1 年目）が参加

議長： 久野元嗣（千葉）

全会一致で議長承認

議題目次

- (1) ロングセレ会計報告
- (2) 新人戦会計・反省
- (3) 新人戦について
- (4) 個人情報について
- (5) インカレ一般クラスのすみ分けについて
- (6) ミドルセレトレインについて
- (7) 関東インカレ団体戦
- (8) 渉外に関する注意
- (9) 次回総会日程の確認と議長決定

10 月 10 日に公開された本議事録の内容について説明の不足や齟齬が指摘されたため、10 月 21 日に加筆修正を行い、再び掲載いたしました。議事録執筆者の議論への十分な理解が不足していたこと、白熱した議論に対する記述の遅れが要因であり、加筆された内容については総会中に話し合われたことです。

今回大幅に加筆修正された事項については下線部を引いて区別いたしましたので、ご確認ください。

本来行うべきでないこのような修正をいたしまして、申し訳ありませんでした。

2015. 10. 21 広報・記録部長 坂野翔哉

(1) ロングセレ会計報告

以下の表に会計報告を示す。

	支出	収入
参加費		598,900
関東学連より		100,000
Eカードレンタル		45,750
地図販売		9,600
地図代	232,378	
テレイン使用料	47,100	
食事代補助	16,460	
交通費(当日)	41,591	
交通費(試走・準備)	25,320	
振込・輸送代	0	
会場代	0	
宿代	112,500	
資材費	83,576	
EMIT代	56,622	
渉外費・調査費	2,200	
保険代	26,700	
レンタカー	26,560	
ガソリン・高速代	82,480	
追加賞品代	23,147	
その他	3,000	
計	779,634	754,250
収入-支出		-25,384

(2) 新人戦会計・反省

以下の表に会計報告を示す。参加費・交通費は前年度と同程度、地図代・宿代がかさんでいる。修理代はレンタカーの破損について、大会運営費は全体として赤字になることは規約にも記載されていることであるため問題ない。しかし今回、参加費を去年のものと同じ値段にしたものの、地図代やテレイン使用料なども考慮して引き上げてもよかったのかもしれない。

	支出	収入
参加費		220700
交通費	146461	
地図代	114264	
テレイン利用料	4500	
保険料	10050	
宿代	94500	
備品代	31975	
修理代	54468	
計	456218	220700
収入-支出		-235518

(3) 新人戦について

反省概要

運営責任者：参加費についてもう少し考えれば。パトチ会議の開催が遅れた。

競技責任者：テレイン経年変化の問題から試走 2 回やったが、精度が十分なテレインで行い、試走を 1 回とするといいと思う。大雨のため、前日のうちに中止になる可能性は想定できたのだから、前日に撤収割を作れると対応が早くできたのではないか。

スタート：資材連絡が遅れた。予備 Ecard の枚数が不足していたのではないか。

ゴール：雨を想定して準備出来たのは良かったが実際使えたかが分からない。

会場：実際に運営していないので何も無い。十分に準備出来ていたと思う。

計セン：対応や確認が遅れた。申し込み遅れについての対応も遅くなってしまった。ネットワークが構築できなかったのは PC のウィルス対策のせいでした。

新人戦リベンジ大会開催を検討したい

再度新人戦を運営する→学連会計に負担はかけないよう、学連関係なく運営する必要がある。

OLK 運営のもともと早慶戦も兼ねる予定だった定例戦を使用し、新人に競技情報を漏らさない配慮の上、定例戦兼早慶戦兼新人戦を OLK による運営で開催することは可能。

今回の新人戦のために用意したメダルと賞状を再利用してもらうことができる。

(4) 個人情報について

前回の臨時総会の最後に、個人情報について学連への連絡があったとの話をした。そのため、各大学に個人情報の扱いについて疑問などがないか持ち帰ってもらった。

相模女子：以前からスタートリスト等で大学名や名前を公開されるのは問題視していた。スタートリストやラップセンターに掲載される個人情報に対してパスワード保護等の対応ができるのではないか。

佐藤：日本学連の情報保護理念というものがある。これに則ってそのような個人情報保護案を日本学連へ持ち込むことは可能である。

小泉：日本学連へ持ち込んで協議したい。この問い合わせに対しては、関東学連としては日本学連へ持ち込むということでの対応とする。

(5) インカレ一般クラスのすみ分けについて

先日の 2015 年第一回日本学連総会で話し合われた議題である。一般クラスは以前から難易度が低いということで問題視がなされていた。さらに 2014 春の日本学連総会にて B エリートを廃止することが決定したが、一般クラスの中での上位と下位での実力差が大きくなってしまい、これを下位層が完走できるようなコースで一般クラス全員を競わせるのは不合理である。そのため、一般クラスの中でも中級者相当にあたる B クラスや S クラスを活用しようという話が日本学連幹事会で話し合われた。

これに伴い、参加者への強制は行わないものの、実力にあった参加クラスに参加するように促すためのガイドラインを日本学連幹事会から提出された。ただし、ここにある具体的な数字 (セレクション通過者 150%以下を B クラス) などはあくまで基準であるため、学連ごとにその部分を変えることは構わないとされている。そのため、この数値に対して意見を聞きたい。

佐藤：未完走・ペナなどによる運営の負担軽減のためにも、これを制定することで B クラスへの参加を促したい。

栗本：セレクション通過者 150%以下に従うとするとミドルでは A クラス参加者が多く、ロングでは少なくなり、両方の競技に対応できない。

佐藤：あくまで基準だから、そこまで気にしなくてもいいのではないか。

小泉：とりあえず、今回のミドルセレを終えて、インカレミドルのエントリーをする時に、意識してエントリーしてみてもらいたい。

(6) ミドルセレテレインについて

早稲田：ミドルセレのテレイン決定についての提訴

・テレイン申請がクローズの前だったから、という理由で練習（以下同期合宿）に番匠峰古墳（以下番匠）の使用を認めた。

・練習に参加した者がいて番匠に入っているにも関わらず、番匠をセクションレースとしての使用を決定した。

という点

東京：番匠より幸岡のほうが入っていないくて公平ではないか。公平性を考えて変えたい。矢板山田ではどうだろうか。

茨城：今から変えられるなら変えたい。

慶應：一度決まったことを変えるのは良くない。運営にも負担となり迷惑。

千葉：慶應と同様。

一橋：同期合宿では山田は使用していない。留年練（日新・山田での開催）については話し合っていない。

相模女子：不動北は可能か。

佐藤：北東学連と北信越学連もセクションに使用するため、人数が多くなり、不動北は全員が十分なレースをするにはテレインが狭い。さらに遠い。そもそも番匠を使用したいとの経緯は、山川さんが番匠の修正調査をしたいという要望も含まれていて、そのためにはセクションなどが開催されるときなどの方が都合がいいからと、セクションに使用される機会をうかがっていた。運営側として、今から開催地を変更することは出来なくはないが、関東学連が総会で話し合っただけで決めたことは自らが受け入れるべきではないかと思う。

小泉：確かに今からセレを変更することは可能かも知れない。しかし、もし矢板日新に決まって留年練習会にテレインを変えてもらうようお願いをするのであれば、申請の時期などからも考えて、同期合宿のテレインを変更させるべきであった。同様にこれから上記テレインに影響する椎名練や留年練を変更させるのはおかしい。同期合宿関係者の方に同期合宿のテレインを変えることはできないかと打診してみたが、もうすでに準備を進めてしまっていると受け入れてもらうことはできなかった。

早稲田：学校内で話し合った時点では同期合宿について考慮されなかった。それについて関東学連からの告知が不足していたのではないか。そのような場合、決議は不平等になってしまう。

佐藤：議決が行われた臨時総会では同期合宿が終了したあとであり、渉外はこれを考慮して決議されたものと判断した。

筑波：議決の流れが番匠優位な情報が多く、決定が恣意的だったと感じた。

小泉：実行委員会と山川さんの情報提供の時点で番匠が優位だった。幹事会での意見でも消去法的に番匠が優位だった。

相模女子：番匠についての渉外への過剰な情報提供は必要だったのか、恣意的ではないか。

佐藤：そもそも実行委員会でトレインを決定したいところを関東学連の決定に譲歩している。渉外の準備も期間が必要であり、要望を関東学連で共有してもらうことは必要である。オリエンテーリングにおいて完全な公平性は実現できない。今後このようなことが起きないためにはセレクションクローズを年単位で行うことができるのではないかな。

栗本：渉外が持ち帰って学校内で検討する時間が非常に短かったことも一因であり、情報提供を早めてもらうことはできたのではないかな。逆にもっと遅かった場合には同期合宿後となり可能性を排除できたのではないかな。

佐藤：これ以上早くトレイン提案を行うことは不可能。本来なら9月10月に実行委員会を立ち上げるのが例年であるところ、今年は動き出しが早く6月に実行委員長が決まり、トレインの候補が第2回総会に間に合ったという経緯があり、十分早かったと考えている。今回はそのようなタイミングの悪さという問題でもあった。

小泉：幹事会の意見としては、強く候補となっているトレインを決議前に2箇所程度リザーブすることは可能である。決定後に速やかにリザーブを解除すれば練習会などへの影響は少ない。今回は同期合宿主催者への幹事会の対応も良くなかった。

実践：同期合宿を開催した主催者や、それらを把握していた山川さんも今回の事態を防げたはず。

東京：セレクション主催者でトレイン決定を行えばいいのではないかな。

佐藤：トレイン決定権は運営者側にあり、関東学連に対して譲歩している形である。実行委員会方式でなく外部クラブ委託としたセレクションもあった。

小泉：総会での議決を尊重し、今回の提訴は取り下げてセレクションのトレイン変更はないものとする。今後このような自体が起こらないための協議が必要である。

早稲田：今後改善されることを望む。

小泉：幹事会から提案された意見としては、実行委員会から送られてきたトレインの中で、特に強く候補となりうる、第1、第2候補のトレインをリザーブトレインと設定し、総会の承認を得るという方式をとる。次回総会時点でセレクショントレインにならなかつたのであればリザーブを外せばいいだけのことであり、このような対応は現行の規約上不可能ではない。このような対策方法を、幹事長の引き継ぎ資料に記載しておくことで、今後の対策とさせていただきます。

(7) 関東インカレ団体戦

関東インカレ団体戦をヤマリハリレーと兼ねることについて決議。

全会一致(18)で承認

小泉が打診する。

男子は東京・女子はお茶がカップの返還をお願いします。

(8) 渉外に関する注意

今後栃木県のテレイン渉外について、申請方法が変わるので、申請や報告を徹底すること。

他のテレインについても同様。

(9) 次回総会日程の確認と議長決定

第4回総会 2月17日(水)

議長：大塩耕平（筑波大学）

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス予定

引き継ぎ総会となるため次期渉外との顔合わせとなる。1月中には次期渉外を連絡すること。